

新しい顎堤形成法

—歯槽骨の垂直性仮骨延長術—

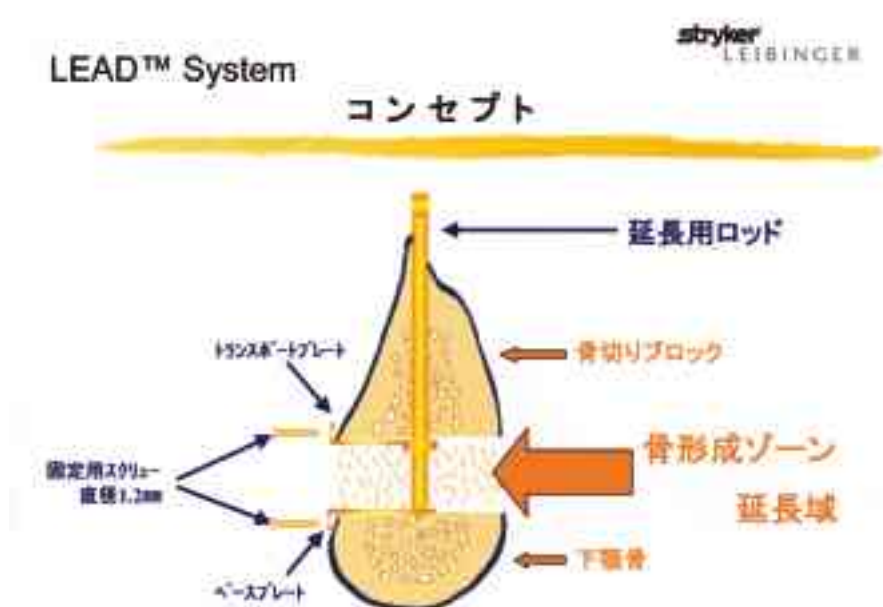
口腔外科学第一講座 小林 正 治

歯が欠損している場合、従来より義歯による治療が行われてきましたが、最近では予知性の高い治療法としてインプラントが広く用いられるようになってきました。しかし、歯槽骨の萎縮が強く顎堤が著しく吸収している患者さんでは、インプラントの埋入が困難であったり、審美的に満足が得られないことがあり、骨移植やGBRなどによる骨増生術を行う必要がありました。今回、ご紹介する歯槽骨の垂直性仮骨延長術は、骨移植や骨補填材などを用いることなく、体の自然治癒能力を活かして、垂直的に歯槽骨を増生させる新しい治療法です。

仮骨延長術は、もともと整形外科領域において四肢の骨の延長術として確立した治療法でしたが、10年程前から顎骨の延長にも応用されるようになってきました。その原理は、延長したい部位の骨切り後に延長装置を装着して、自然治癒能力によって骨切り部の間隙に新生骨の生成が進行している間に、ゆっくりと切断した骨を伸ばして骨

の延長を図ろうというものです。(図)通常は、骨切り後1週間程してから、求める長さに応じて1日あたり1mmの割合で骨を延長し、延長が終了してから約2か月後に新生骨の成熟を待って延長装置を撤去します。本法は、安全で、比較的侵襲が小さく、後戻りや再吸収が少ないなどの利点を有し、骨の延長に伴い周囲の軟組織も延長してくる点でも歯槽骨の増生に適しています。この治療法を応用することによって、インプラントの適応症例が拡大され、機能的かつ審美的にも優れたインプラント補綴が可能となります。

本法に用いられる延長装置は、世界各地で新しく工夫された装置が開発されています。現在は、3社からタイプの異なる製品が発売されていますが、それぞれ長所短所があり、症例によって選択されます。また、本法の長期的データは少ないものの、他の骨増生術に比して有利な面も多く、今後インプラント治療をサポートする術式として定着するものと思われます。



変色歯を削らないで白くする 方法について教えてください

回答者 福島正義
(第一保存科・変色歯外来)

変色歯外来での相談のなかで最も多い疾患は幼児期に投与されたテトラサイクリンという抗生物質による永久歯の変色で、次いで歯の外傷や虫歯のために歯が死んでしまったことによる失活変色です。本稿ではこれらの変色歯に対する治療法の1つとして歯の漂白法 bleaching について概説します。一般に漂白法には酸化漂白と還元漂白がありますが、歯科では30%過酸化水素や10%過酸化尿素のような過酸化物によって歯質の有機性変色物質を水と二酸化炭素に分解する酸化漂白が用いられています。ただし、金属修復物由来の金属イオンによる変色に対しては無効です。

歯の漂白法には生きている歯（生活歯）と死んだ歯（失活歯）に対するものがあります。前者の場合を生活歯漂白と呼び、歯の外側のエナメル質表面から漂白が行われます。生活歯漂白には患者自身が歯科医の指導下で家庭で行うホームブリーチング home bleaching と診療室で行うオフィスブリーチング Office bleaching があり、本場の米国ではこのための製品が数多くあります。しかし、日本ではオフィスブリーチング用の製品が1つだけ厚生労働省から認可されているだけで、ホームブリーチングの製品は現在のところ全く認可されていません。また、この治療法は自由診療となります。当院での治療費は1歯当り約6500円です。

適応症は軽度のテトラサイクリン変色、加齢による黄変、表層的な変着色です。

一方、死んだ歯の漂白を失活歯漂白と呼び、根の治療を施した歯髄腔内に漂白薬剤を填入して歯の内側から変色象牙質を直接漂白します。この場合は先に述べたエナメル質から漂白剤を作用させるよりはるかに効果的です(図)。とくに、漂白剤を次回来院時まで歯髄腔内に封入しておくウォーキングブリーチ Walking bleach 法は1回の治療時間が短く漂白効果が高いため、保険診療にも採用されています（1歯につき1回400円）。ウォーキングブリーチ法に用いられる最も一般的な漂白薬剤は30%過酸化水素および過ホウ酸ナトリウムです。30%過酸化水素は皮膚や粘膜に対する刺激が強いため、薬剤が外へ漏れ出ないように配慮がなされていなければなりません。約1週間毎に通院し、薬剤交換を繰り返します。通院は4～5回以上かかることが多いようです。ただし、生活歯漂白および失活漂白も一旦色調が改善されても、時間とともに再び変色して後戻りすることは避けられません。しかし、自分の本来の歯が十分保存されている失活変色歯では歯を削って冠をかぶせる治療を選択する前に漂白法を試みられることをお勧めします。



術前



術後

図 失活歯漂白の症例 (21|12)